

## 新型コロナウイルス感染症に関する国県からの要請

### 1 国（厚生労働省 HP）

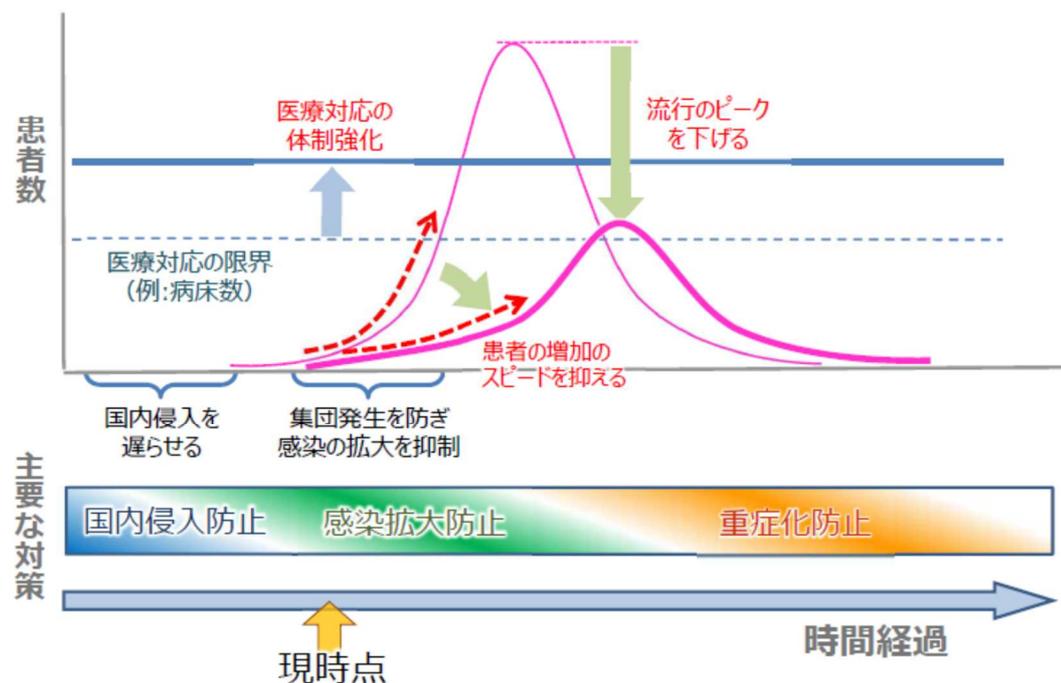
#### 【休校要請した根拠】

根拠明示なし

#### (1) 加藤厚生労働大臣コメント（2020年3月10日）

- ① 現在、国内の複数地域で、感染経路が明らかではない患者が散発的に発生
- ② 感染の流行を早期に終息させるためには、クラスター（集団）が次のクラスター（集団）を生み出すことを防止することが極めて重要
- ③ 患者の増加のスピードを可能な限り抑制することは、今後の国内での流行を抑える上で、重要な意味を持つ
- ④ 今後、国内で患者数が大幅に増えた時に備え、重症者対策を中心とした医療提供体制などの必要な体制を整える準備期間にも当たる

### 新型コロナウイルス対策の目的（基本的な考え方）



### 2 新型コロナウイルス感染症対策新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の見解（2020年3月9日）

3月9日時点での日本の状況は爆発的な感染拡大には進んでおらず、一定程度、持ちこたえている。

北海道での緊急事態宣言から少なくとも約2週間後でなければその効果を推定することが困難。

3月19日頃を目処に公表する予定。

#### **今後の見通し**

- ・急速な感染拡大が予想される地域では、人との接触を可能な限り控える
  - ・収束に向かえば、比較的、感染拡大リスクの低い活動から解除
  - ・社会・経済活動の維持と感染拡大防止バランスを取り続ける
  - ・こうした対策を繰り返す
  - ・厚生労働省クラスター対策班が指針を作成中
  - ・集団感染しやすい場所・場面
    - ① 換気の悪い密閉空間
    - ② 多くの人が密集
    - ③ 近距離（互いに手を伸ばしたら届く距離）での会話や発声
- 上記、3つの条件が重なる場所・場面を避ける。ただし、どの程度感染防止リスクが減少するかについては、十分な科学的根拠はない。
- ・こまめな手指衛生と手指消毒と咳エチケットの徹底、共用品を使わない、使う場合は消毒の推奨

### **3 県（兵庫県 HP）**

#### **【休校要請した根拠】**

根拠明示なし

#### (1) 井戸知事コメント（2020年3月1日）

- ①国や県・市町から発信する情報を基に、冷静に行動
- ②手洗いや咳エチケットを徹底し、発熱等の風邪症状がみられる場合は、  
外出を自粛

#### (2) 県の対策

- ・感染経路の疫学調査、濃厚接触者の健康観察
- ・感染症病床をはじめ専用の入院病床確保（全県154床）
- ・帰国者・接触者外来の設置支援（感染症指定病院を含む40カ所）
- ・24時間対応コールセンター、帰国者・接触者相談センターの設置
- ・小・中・高等学校、特別支援学校、私立学校、各種専修学校等の臨時休業（3月3日～15日）の要請 など